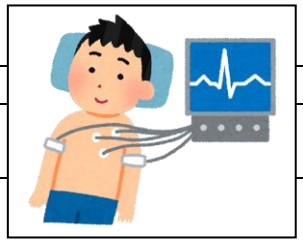
ほけんだより5月

令和６年５月１日
東京都立永福学園
校　　長　緒方　直彦
主任養護教諭　木村真紀子

５月５日は立夏です。春分と夏至の中間にあたり、夏の気配を感じる頃です。日中、気温が上がる日も増えてきました。

５月は新年度の緊張が解けたところに寒暖差が大きい気候が重なり、体調を崩しやすい時期でもあります。休養を十分とり、生活リズムを整えて、心も身体も健やかにすごしましょう。

５月の保健行事



日　程	内　容	対　象
５月　１日（水） 13：30～	内科検診	内科診未受診者
５月　７日（火）	心臓・結核検診	心臓検診（心電図検査） 各学部　１年生 結核検診（胸部レントゲン検査） 高等部　１年生
５月　９日（木） 13：00～	眼科検診	眼科検診未受診者
５月　９日（木）	尿検査（二次）①	二次検査対象者（別途お知らせ） 一次検査未提出者も提出可
５月１０日（金）	尿検査（二次）②	二次検査対象者（別途お知らせ） 一次検査未提出者も提出可
５月１６日（木）	歯科検診	高等部Ａ３グループ

＊小児神経診　　５月１３日（月）
＊整形診察　　５月１０日（金）・５月１７日（金）
＊摂食指導　　５月１４日（火）・５月１５日（水）

対象の方には、お知らせを配布します。

令和６年度から摂食指導の担当医は、久保田一見先生・石﨑晶子先生（昭和大学歯学部口腔衛生学講座）となりました。

＊精神保健相談　　５月２１日（火）　精神科校医　海野先生
・希望される方は、**５月１４日（火）までに**、担任を通じて、保健室までお申し出ください。

＊ユースヘルスケア相談（産婦人科相談）　５月１３日（月）　産婦人科校医　塚田先生
・希望される方は、**５月　７日（火）までに**、担任を通じて、保健室までお申し出ください。

健康診断の留意事項

※尿検査について
・二次検査対象の方には、提出日前までに容器と採尿物品を配布します。
・５月９日（木）、１０日（金）は、一次検査未提出の方も提出できます。４月に配布した容器を御使用ください。容器がない場合は、連絡帳等で御連絡ください。
※『学校生活管理指導表（心臓）』を提出いただいている方は、心電図検査を省略します。

健康診断の結果について

各健康診断で所見があった方には、個別に通知をお配りします。受診が必要な場合は、早めの受診をお願いいたします。御不明な点は、保健室までお問い合わせください。

健康診断終了後『令和６年度定期健康診断結果一覧』にて、お知らせいたします。６月末から７月の体重測定後にお配りします。

内科検診・耳鼻科検診・眼科検診・尿検査・心電図検査（各学年１年生対象）を実施のうえ、プール学習の参加となります。検診を受けられなかった方には、受診依頼の用紙をお渡しいたします。主治医等への受診を、お願いいたします。

保健室からのお知らせ

保健関係書類封筒について

保健関係の書類や健康診断、体重測定の結果は、青色の封筒に入れてお配りします。封筒が配布された際には、中身を確認の上、書類の提出や封筒の返却をお願いします。**御家庭にある場合は学校まで御返却ください。**

治癒連絡票について

学校保健安全法施行規則により、「学校において予防すべき感染症」には出席停止の期間が　定められています。お子様の十分な休養や体調の早期回復、他の児童・生徒への感染予防のための休養であり、欠席扱いにはなりません。

医師の指示等により、他へ感染させるおそれがなくなった児童・生徒が登校を再開する際は、『治癒連絡票』が必要です。保護者の方が御記入のうえ、担任へ御提出ください。

『治癒連絡票』を５月のほけんだよりと一緒に配布いたします。御家庭で保管して、必要な際にお使いください。また学校ホームページからのダウンロードも可能ですので、御活用ください。

ヒトメタニューモウイルス感染症

ヒトメタニューモウイルスは、呼吸器症状（咳、鼻水など）を引き起こすウイルスです。

風邪症状で欠席していた児童・生徒の皆さんのうち「ヒトメタニューモウイルス感染症」と診断されたという方が何人かいました。

ヒトメタニューモウイルス感染症で欠席した場合、症状が落ち着いた後の登校については、かかりつけの医師と十分御相談ください。

主な症状
- 咳（多くの場合１週間程度）
- 熱（多くの場合４～５日程度）
- 鼻水

３月から６月にかけて流行がみられます。

１回の感染では免疫がつかず、何度も感染を繰り返す場合があります。

感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。手洗い、換気など感染症対策は引き続き行ってください。アルコール消毒も効果があります。

多くは１週間程度で良くなりますが、中耳炎や肺炎、気管支炎を起こすことがあります。喘鳴（ゼコゼコ、ヒューヒューという呼吸）を起こす頻度も高く、重症化した場合、呼吸困難で入院が必要となる場合もあります。